



君は白き薔薇のよう

You are like a white rose.

何が
起こったん
だろう

僕は
亡き母さまの
白薔薇を
夜ごと届けて
くれるのが
誰なのか

突きとめようと
したはずなのに

大きな風に
さらわれた
みたいだ…

あなたの
母上の

薔薇を
届けに…

はなせ！

ここは
ランバート家の三男
イアン・ランバートの
私室だ

こんな夜更けに
何をしてる？

きみは
誰？



私は仕事に
行くのだ

学校を出ても
まだまだ
お前は半人前だな

ハラ

タイムも
今年から
空軍に任官
するというのが

せめて
ランバートの家名に
傷をつけるような
真似はするなよ

僕は…

僕も仕事を覚えて
父さんたちと
働きたいと思って…

は！

お前に
株のことが
わかるのか！？

…おう
もう
こんな時間か

イアン
お前の将来の
ことは
後で考えてやる

忙しいのに
邪魔をするな
いいな！

これは…

母さまの
薔薇
なのに…

屋敷裏の
田さまの
薔薇園…

手入れを
する人が
いなくなつて
今は
どうなつて
いるんだらう

父さんも
兄さんたちも
園芸はまるで
興味ないから

きっと
ほったらかしに
なってるんだ
…かわいそうに

え……？



失礼
昨夜も
お目に
かかりましたね

私は
カイル・
マクレガー

3年前から
ランバート家の
庭師を
承っております



それじゃ
母さまの
薔薇園を
君が護って
くれていたのか

僕は
てっきり
荒れ果てて
いると
思い込んでいて



…私は

奥さまの
遺言を
守っている
だけです…



す…めい…

こんなに
立派に
なって…



誰だ！
そこで
何を
している！？



あ…
この声は…
昨夜の…

ひ、人に名を
尋ねる時は
自分から名を
べきじゃないか
無礼だぞ